

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス・アニマートおおつか				公表日	令和7年 3月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		・ダイニングテーブルを活用して、スペースの区分けを行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・法令の配置基準を満たしております。今後も安全に配慮して配置して参ります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		・施設内はバリアフリー化されており、マット、ダイニングテーブルによって区分けされています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		・手洗い石鹸、アルコールや室温調整・加湿器の設置、マスクの提供等で感染予防を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		・クールダウンの為に自発的に個室に行かれるように相談室を使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		・定期的にカンファレンス・ミーティングを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・集計後、職員間で共有し、意見交換を行いました。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・定期的に職員の面談・ミニミーティングを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3			・検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・外部研修、勉強会等を行っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		・アセスメントシートを作成して支援に反映しております。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・常にお子さまの状態の変化を共有するように心がけております。	・職員間共有を怠らないよう心掛ける。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・個別支援会議、ミニミーティングを行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・児発管の指示のもと保護者様のご希望に添えるよう療育を心掛けています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・職員間で支援会議を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・繰り返し行うことと、新しい事にチャレンジする事の両面を職員に意識して頂いております。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3		・個々の状況に応じて作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		・申し送り、ミーティングを必ず実施しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・翌日の申し送りにて振り返りを行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・勉強ファイルを作成して、必要があれば見返したり、新しい職員に目を通すことを伝えていきます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・定期的なモニタリング、連絡帳の記載事項の共有などで計画に追加等させて頂いております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3		・児発管の指示のもと、保護者様のご希望に添えるよう支援を行っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		・自己決定を尊重した支援と関わりを心掛けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		・開催数が少ないものの、管理者・児発管が積極的に参加しております。	・開催数を増やして共有をして行きたいと考えています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		・必要に応じて連携をとりたい考えです。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		・定期的に調整会議が開催されています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		・移行した児童がおりません。	・必要に応じて連携を計ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		・移行した児童がおりません。	・必要に応じて連携を計ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		・未実施となります。	今は機会が少ないが、機会があれば積極的に参加していきたいと考えている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3		・学童クラブに行かれているお子さまの件で情報交換はあります。	今は機会が少ないが、機会があれば積極的に参加していきたいと考えている
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3		・定期連絡会に参加させて頂いております。	今は機会が少ないが、機会があれば積極的に参加していきたいと考えている
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		・連絡帳、送迎の際に情報交換をさせて頂いており、各職員に共有しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		・必要に応じて面談させて頂いております。	・職員にも情報共有を促します。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・契約時にご説明させて頂いております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・お子さまの意思の尊重は最優先に考えており、必要とあれば保護者様ともお話しさせて頂いております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3		・同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・相談があった際には親身に対応させていただくことを心掛けております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		・毎年8月にコンサートでの交流に加え、12月に保護者会を実施させて頂いております。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・迅速な対応を心掛けております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3		・月に一度広報誌をお配りしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・鍵付き書庫にて保管しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・必要に応じての対応、保護者様からの日常どうされているかを参考にさせて頂いております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		・8月にサマーコンサートを開催しております。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・マニュアルの周知徹底・避難訓練を行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		・業務持続化計画を作成し、避難訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3		・常備薬のある場合はお預かりしております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		・アレルギーのあるお子さまに関しては職員に周知しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・安全計画の作成、研修、点検を行っております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		・安全確保について話し合い、ご家族にも配布物等で周知しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・ヒヤリハット報告書、事故報告書を共有し、改善に向けた話し合いを定期的にカンファレンスにておこなっております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・虐待防止委員会を設置しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3		・身体拘束はしていません。	今後、拘束の必要性が出た場合は社内で話し合いを行います。	